

令和3年度(2021年度)
第74回岩手芸術祭記録集



第74回岩手芸術祭実行委員会

< 目 次 >

1	総合フェスティバル	1
2	美術展	2
3	巡回美術展	2
4	小・中学校美術展	3
5	巡回小・中学校美術展	3
6	舞台等部門(演劇・伝統芸能・音楽・舞踊・演芸)／出演者公募	3
7	県民文芸作品集	5
8	文芸祭	5
9	移動公演	6
10	テーマ募集	6
11	アートフェスタいわて2021 -岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展-	6
12	受賞者一覧 (美術展、小・中学校美術展、ピアノ演奏会、県民文芸作品集、文芸祭)	7
13	審査員・選者等一覧(美術部門、舞台等部門、文芸部門)	12
14	実行委員会委員一覧(親、部門、事務局)	16
15	開催状況一覧	18
16	市町村別応募作品数一覧(美術、県民文芸作品集)	20
17	収支予算書(最終予算)	22
18	芸術祭受賞作品(美術、小・中学校美術)	23
19	ポスター等 (公募ポスター、総合ポスター、美術展ポスター、県民文芸作品集装丁デザイン)	27
資料		
(1)	開催要綱	29
(2)	実行委員会会則	31
(3)	運営組織	33
(4)	美術部門実行委員会運営規程	34
(5)	実行委員会感謝状贈呈に関する規程・選考基準	35
(6)	協賛事業の名義の使用承認事務手続要領	37
(7)	美術展公募要項	41
(8)	県民文芸作品集第52集公募要項・文芸祭開催要項	43
(9)	ピアノ演奏会出演者公募要項	45
(10)	小・中学校美術展作品募集要項	46

1 総合フェスティバル

(1) 【盛岡開催】

1 開催日	10月2日(土)
2 会場	岩手県民会館／大ホール
3 鑑賞者数	1,800 人 (県民481人、YouTube視聴1,207人、肴町アーケード映像配信112人)
4 内容等	テーマ／「エール」 東日本大震災津波から10年を迎える中で、様々な活動に尽力し、困難を克服しようとしている全ての方への「エール」をテーマに、感染防止対策を講じながら伝統芸能、現代舞踊、演奏・合奏などのステージ発表を行った。 ○祝言小謡「高砂」(能楽)○常磐津平成版「花舞台千代顔見」(邦楽)○「岩手風物詩」(邦舞)○「民うた・四季をつづる」(民謡)○「虎舞」(山田境田虎舞保存会)○エール(盛岡一高応援委員会) ○式典「感謝のセレモニー」 ○チアダンス「HeartBeat!」(盛岡チアダンスクラブ煌)○モダンダンス「内在する刻」(洋舞)○ピアノ演奏(佐藤陽十)○フルート演奏(岡本梨奈)○バレエとビデオメッセージ(太田倫功)○フィナーレ合唱(矢巾北中学校特設合唱部) 【入場無料】
5 功労者表彰	美術部門…… 高橋政子(洋画)・野田杏苑(書道)・菊池正忠(写真)・村上由美子(デザイン) 舞台等部門… 吉田朋雅(華道)・村松玲子(合唱)・菊池捷山(三曲)・水木優紅(日舞)・久慈幸恵(洋舞)・川村治穂(民謡)・斎藤幸子(新舞踊) 文芸部門…… 伊藤紫水(俳句)・藤嶋政豊(川柳)
6 その他	(関連事業)第5回芸術体験イベント 10月2日(土)・3日(日)に盛岡市肴町アーケード及び岩手県民会館を会場に39のイベントを、また4日(月)・5日(火)には展示室において日本画の体験コーナー等を設けた。4日間の参加者は延べ2,261人であった。

(2) 【地域開催】

長い歴史を持つ岩手芸術祭の開催内容を拡充し、地域における鑑賞機会の提供や地域の文化催事と連携したフェスティバルを開催した。

1 開催日	R4.1月24日(日)
2 会場	二戸市民文化会館
3 鑑賞者数	1,035 人 (大ホール543人、YouTube視聴492人)
4 内容等	R4.1月24日(日) ○創作太鼓「宇漢米伝説」(座・宇漢米)○マーチングバンド「スピリテッドアウェイ／ラブソースイート」(一戸小金管バンド)○「岩手風物詩」(邦舞)○「民謡をあなたに」(民謡)○「権現舞」(江刺家神楽保存会)○エール(福岡高校応援団)○チアダンス「HeartBeat!」(盛岡チアダンスクラブ煌)○「根反鹿踊り」(根反鹿踊り保存会)○ピアノ演奏(佐藤陽十)○バレエとビデオメッセージ(太田倫功)○合唱・フィナーレ(カシオペア・キッズクワイヤー&福岡高校音楽部) 【入場無料】
	R4.1月22日(金)～24日(日) ○巡回美術展・巡回小中学校美術展

2 美術展

岩手県内在住者及び県出身者等の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 作品搬入・受付・審査

日 程		作品審査	点数	
作品搬入・受付	各会期2日前ほか	岩手県民会館	応募点数	781点
作品審査	各会期前日ほか		入賞・入選作品数	747点

(2) 美術展会期・会場

会 期		展示種目	会 場	鑑賞者数	展示点数
第1期	10月2日(土)～5日(火)	日 本 画 版 画 水 墨 画	岩手県民会館 展示室	3,074人	入賞・入選 747点
第2期	10月14日(木)～17日(日)	写 真 デ ザ イン 現 代 美 術			
第3期	10月21日(木)～24日(日)	洋 画 彫 刻			
第4期	10月28日(木)～31日(日)	工 芸 書 道			計 802点

(3) 表彰式

11月21日(日)サンセール盛岡で芸術祭賞、優秀賞、奨励賞受賞者の表彰式を行った。

3 巡回美術展

美術展の上位入賞作品77点を県内5市町で巡回展示した。(計20日間・7会場)

会期	会場	出展作品数			
11月10日(水)～14日(日)	奥州市文化会館	日 本 画	7点	洋 画	8点
11月23日(火)～25日(木)	山田町中央公民館	版 画	8点	彫 刻	6点
12月11日(土)～12日(日)	久慈市文化会館	工 芸	8点	書 道	8点
12月14日(火)～16日(木)	宮古市民文化会館	写 真	8点	デ ザ イン	8点
R4.1月21日(金)～23日(日)	二戸市民文化会館	現代美術	8点	水 墨 画	8点
					計 77点
		鑑賞者数	772人		

4 小・中学校美術展

県内小学生の書写・絵画作品及び中学生の書道・美術作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 応募状況及び入賞者等

	小学校絵画	小学校書写	中学校美術	中学校書写	合計
応募点数	2,904点	1,957点	346点	1,159点	6,366点
応募学校数	52校	68校	16校	46校	182校
入賞者数	42点	39点	8点	10点	99点
入選者数	419人	388人	92人	230人	1,129人
入選のうち 巡回展出品数	36点	96点	16点	121点	269点

(2) 小・中学校美術展会期・会場

会期	会場	鑑賞者数	展示点数
12月3日(金)～5日(日)	岩手県民会館展示室	2,626人	1,228点

5 巡回小・中学校美術展

小・中学校美術展におけるすべての入賞作品と入選作品の中から巡回用に選定した作品を、県内各地で巡回展示した。

会期	会場	入場者	展示点数
R4.1月15日(土)～16日(日)	久慈市文化会館	500人	小学校絵画 78点
1月21日(金)～23日(日)	二戸市民文化会館		小学校書写 135点
2月1日(火)～2日(水)	九戸村公民館		中学校美術 24点
2月19日(土)～20日(日)	宮古市民文化会館		中学校書写 131点
			計 368点

6 舞台等部門

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数
盛岡地区	中止	岩手県演劇協会 (劇団しばいぬ)		—
県南地区	中止	岩手県演劇協会 (劇団我夢)		—
沿岸地区	11月14日(日)	岩手県演劇協会 (劇研麦の会)	宮古市民文化会館	285人
県北地区	12月26日(日)	岩手県演劇協会 (二戸演劇協会The雲人)	二戸市民文化会館 大ホール	150人
市町村民劇場	対象事業なし			—
映像フェスティバル	12月4日(土)	岩手県演劇協会 (アートサポートセンター)	もりおか町家物語館 浜藤ホール	24人

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数
華道展	中止	岩手華道協会		—
茶会	中止	岩手県茶道協会		—
吟詠剣詩舞道祭	中止	岩手県吟詠剣詩舞道総連盟		—
謡と仕舞の会	11月7日(日)	岩手県能楽連合会	岩手県民会館 中ホール	105人
邦楽のつどい	中止	岩手邦楽協会		—
ソロと室内楽の調べ	中止	岩手県弦楽研究会		—
ピアノ演奏会	10月24日(土)	岩手県ピアノ音楽協会	岩手県民会館 中ホール	250人
三曲演奏会	中止	岩手三曲協会		—
声楽部門演奏会	中止	岩手声楽研究会		—
ギター音楽の夕べ	11月20日(土)	岩手県ギター協会	岩手県民会館 中ホール	166人
吹奏楽演奏会	11月28日(日)	岩手県吹奏楽連盟	無観客ライブ配信	240人
合唱祭	中止	岩手県合唱連盟		—
管弦楽フェスティバル	11月14日(日)	岩手県管弦楽連盟	田園ホール (矢巾町)	71人
洋舞公演	10月24日(日)	岩手県洋舞協会	岩手県民会館 大ホール	782人
日本舞踊公演	中止	岩手県邦舞協会		—
新舞踊発表会	11月23日(火祝)	岩手県新舞踊協会	奇跡の一本松ホール (陸前高田市)	400人
岩手民謡まつり	11月7日(日)	岩手県民謡協会	岩手県民会館 大ホール	570人
			計	3,043人

【出演者公募】

- (1) 声楽演奏会 中止
(2) ピアノ演奏会 出演者18名
審査なし

7 県民文芸作品集

岩手県内在住者及び県出身者等から、小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を決定した。

入賞作品及び入選作品の一部を掲載した県民文芸作品集第52集を刊行した。

(1) 応募作品・受賞点数及び掲載作品数

応募作品数	掲載点数	受賞点数	刊行日
404点	120点	芸術祭賞 6点 優秀賞 9点 奨励賞 17点	12月11日(土)

(2) 表彰式

12月12日(土)サンセール盛岡で芸術祭賞、優秀賞、奨励賞32名に対して表彰式を行った。

8 文芸祭

部 門	開催日/会場	内 容	参加者数
小 説	10月17日(日)	小説大会 県民文芸作品集の講評	14人
	岩手県民会館会議室		
戯 曲	R4.1月15日(土)	「絹川友梨と行くインプロの旅～やさしい即興演劇ワークショップ」講師 絹川友梨	17人
	盛岡劇場タウンホール		
文芸評論	10月10日(日)	文芸評論大会 小講演と研究発表 講演「文学における言語～二重の虚構性再び～」 講師 望月 善次 〃 「応募文芸評論の周辺」講師 赤崎 学 〃 「「星めぐりの歌」の周辺」講師 牛崎 敏哉	13人
	岩手県民会館会議室		
随 筆	10月31日(日)	随筆大会 県民文芸作品集の講評	18人
	岩手県民会館会議室		
児童文学	10月24日(日)	児童文学大会 ①県民文芸作品集応募作品の選評 ②講演「岩手医大と宮沢賢治」講師 牛崎 敏哉	30人
	やはばーく大研修室		
詩	10月24日(日)	詩の大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか	20人
	北上市生涯学習センター		
短 歌	10月9日(土)	短歌大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞	94人
	盛岡市勤労福祉会館		
俳 句	中 止		—
川 柳	10月16日(土)	川柳大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか	65人
	あ え り あ 遠 野		
計			271人

9 移動公演

開催地	種目	開催日	出演団体	会場	鑑賞者数
岩泉町	演劇	11月6日(土)	劇団しばいぬ	岩泉町民会館	50人
一戸町	新舞踊	12月4日(土)	岩手県弦楽研究会	一戸町コミュニティセンター	104人
計					154人

10 テーマ募集

応募期間	R2.12月～2月		
応募総数	271点	応募者数	105人
選定方法	事務局にて絞った26点に対して選定委員が採点したものの上位から、会長が優秀作1点、佳作4点を最終決定した。		
選定委員	柴田和子(芸文協会長)・館林克典(地域・二戸市芸文協)・日山登啓(版画)・鬼澤陽子(演劇)・伊藤豊志(川柳)		
表彰	10月2日(土)の開幕式典において優秀作作者を表彰		

【優秀作】 岩手芸術祭テーマ

「岩手発 創造の芽は無限大」 富岡 敦子さん(盛岡市)

【佳作】

「光射す岩手の芸術 今こそつなげ文化と心」 伊藤 貴志(北上市)

「岩手の芸術・息吹・底力」 長澤 智子(宮古市)

「受け継ぐ文化 繋がる想い」 高橋 優奈(花巻市)

「文化よ 紡げ未来を 結べ僕らを」 三浦 明(花巻市)

11 『アートフェスタいわて2021

—岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展—

(岩手県立美術館・岩手芸術祭実行委員会共催事業)

岩手芸術祭美術展の三賞及び美術展各部門から推薦された作家の作品100点と岩手県美術選奨受賞作家の作品をあわせて公開する企画展を実施。

会期	2月27日(土)～3月21日(日)		出品点数			
会場	岩手県立美術館		日本画	7点	洋画	17点
鑑賞者数	2,504人		版画	7点	彫刻	7点
ギャラリー トーク	3月5日(土)	現代美術・デザイン・写真	工芸	9点	書道	17点
	3月6日(日)	工芸・彫刻・日本画	写真	12点	デザイン	7点
	3月12日(土)	版画・洋画	現代美術	6点	水墨画	11点
	3月13日(日)	水墨画・書道	計		100点	

12 第74回岩手芸術祭受賞者一覧

【美術展】

種目	賞名	作品名	氏名	居住地
日本画	芸術祭賞	祈り	花立 ゆかり	矢巾町
	優秀賞	夏めいて	吉原 恭子	花巻市
	奨励賞	露地の花	平松 比紹	盛岡市
	奨励賞	群れ	藤原 妙子	矢巾町
洋画	芸術祭賞	動物劇場	武藤 章	宮古市
	優秀賞	甦る	佐藤 榮一	二戸市
	奨励賞	共生	今野 健	奥州市
	奨励賞	弱虫	小室 奏絵	久慈市
版画	芸術祭賞	カーボンニュートラルの灯	金澤 龍一	釜石市
	優秀賞	宙	山内 一矢	盛岡市
	奨励賞	恩讐	浅倉 伸	盛岡市
	奨励賞	とおいところ	蘇野 辺 瞳	盛岡市
彫刻	芸術祭賞	記憶のかたち一祈ること一	井川 ゆきな	盛岡市
	優秀賞	Mt.chocolate	八重 檉 篤	雫石町
	奨励賞	猿Ⅱ	黒 沼 令	福島県
	奨励賞	屹立	有馬 辰樹	盛岡市
工芸	芸術祭賞	ケラツツキの刻	門馬 経智	盛岡市
	優秀賞	碧い言の葉	高橋 由美	花巻市
	奨励賞	響きあう命、再び	昆野 明栄	遠野市
	奨励賞	金魚	澤野 諒和	盛岡市
書道	芸術祭賞	山家集より	丸山 篁香	滝沢市
	優秀賞	枕草子より	横田 朗子	盛岡市
	奨励賞	金陵(高青邱詩)	畠山 素園	花巻市
	奨励賞	杜審言詩	清水 嶺鵬	宮古市
写真	芸術祭賞	焰	後藤 靖行	盛岡市
	優秀賞	染まずただよふ	佐藤 智子	盛岡市
	奨励賞	笑顔 弾けて	北川 絵梨	盛岡市
	奨励賞	放牧の日	松島 哲夫	盛岡市
デザイン	芸術祭賞	剥落	竹内 蒼	盛岡市
	優秀賞	ぶらぶら盛岡 12連絵ハガキ 広告	佐々木海太郎	盛岡市
	奨励賞	Beautiful_1・2	吉田 康則	盛岡市
	奨励賞	Flower Language	加村 なつえ	盛岡市
現代美術	芸術祭賞	滅びない・melt anomalies(五十四)	浅倉 伸	盛岡市
	優秀賞	繕う・取り繕う	菊池 麻衣	花巻市
	奨励賞	断片的な記憶	千葉 安里	奥州市
	奨励賞	血縁の記憶(3つの仏壇)	鈴木 研作	一関市
水墨画	芸術祭賞	巖美流韻	谷藤 千嘉子	盛岡市
	優秀賞	栗駒溪谷	宍戸 武英	一関市
	奨励賞	ほころぶ春	小笠原 妙子	盛岡市
	奨励賞	濤声	千葉 勝歳	盛岡市

【小・中学校美術展】

1 小学校

	小学校絵画部門		小学校書写部門	
芸術祭賞	長谷川 輝明	花巻小2	佐藤 開	岩大附属小2
	加藤 凜	北厨川小3	淵澤 杏美	青山小4
	高橋 美優	盛岡・中野小6	田澤 佳歩	向中野小6
優秀賞	千田 佳那	上田小1	飯田 圭祐	向中野小1
	四垂 士暉	松園小1	佐々木 芽生	鵜飼小1
	澤藤 朱里	松園小1	小田島 早希	八幡小1
	齊藤 楓佳	厨川小2	鈴木 千咲子	仁王小2
	近藤 凜香	北厨川小2	海道 美佑	向中野小2
	菊地 俐光	上田小2	古川 朱里	滝沢東小2
	高橋 励	仙北小3	赤坂 ひかり	岩大附属小3
	小坂 蒼侑	盛岡・中野小3	三浦 聖愛	一方井小3
	津志田 日和	巻堀小3	柳谷 歩希	鵜飼小3
	藤澤 咲菜	羽場小4	伊藤 綺希	向中野小4
	井口 詩夕	飯岡小4	伊五澤 殊那	渋民小4
	八角 友菜	巻堀小4	村上 絢	大槌学園4
	巢内 果実	厨川小5	熊林 佑南	山岸小5
	檜村 曜	太田東小5	神崎 結衣	向中野小5
	竹下 莓花	花輪小5	柳谷 祐希	鵜飼小5
	今井 天慳	桜城小6	堂前 詩乃	仙北小6
	柏田 一圭	厨川小6	八幡 まゆみ	山王小6
高橋 桜姫羽	厨川小6	渡辺 菜月	岩大附属小6	
奨励賞	池田 泉里	上田小1	面田 大駕	岩大附属小1
	大向 瑛翔	太田東小1	工藤 朱莉	岩大附属小1
	西野 弥尋	松園小1	深野 碧央	鵜飼小1
	木村 梓	角浜小1	檜館 凜咲	仙北小2
	多田 咲希	北厨川小2	北村 花	月が丘小2
	高橋 莉凜	大新小2	佐藤 結咲	鵜飼小2
	前川 權志	津志田小2	鈴木 ゆうな	北厨川小3
	齊藤 創士	厨川小3	佐藤 勇樹	城北小3
	小西 京佑	盛岡・土淵小3	乙部 杏珈	城北小3
	藤澤 翠	羽場小3	今 碧羽	渋民小4
	田村 航大	高松小4	田屋 太陽	新里小4
	細川 結羽	高松小4	深澤 結菜	新里小4
	千葉 優一	巻堀小4	北田 莉央	青山小5
	川口 結叶	鵜飼小4	保科 光歩	岩大附属小5

	小学校絵画部門		小学校書写部門	
奨励賞	高橋 雛	盛岡・土淵小5	大崎百々香	長興寺小5
	大平 ひかる	花巻小5	渡辺 詩央	青山小6
	佐々木寿美礼	大槌学園5	小笠原 想	向中野小6
	大崎 百々香	長興寺小5	山本 心十葉	沼宮内小6
	寒河江 美友	厨川小6		
	柴田 汐理	津志田小6		
	佐藤 心咲	船越小6		

2 中学校

	美 術	
芸術祭賞	千葉 寧々	下橋中2
	中條 孝介	下橋中3
優秀賞	塩田 小鈴	下橋中1
	菊池 海麗	下橋中2
	大澤 帆奈美	岩大附属中3
奨励賞	倉田 そら	城西中1
	佐久間 佳乃	岩大附属中2
	関 このみ	仙北中3

	書 写			
	毛筆条幅入賞		毛筆半紙入賞	
芸術祭賞	熊谷 寧音	滝沢中3	遠藤 美佑	福岡中3
優秀賞	柳谷 咲希	滝沢南中1	三浦 愛叶	一方井中1
	葛 卷 綾	下小路中2	渡辺 果歩	岩大附属中2
奨励賞	玉井 瞭平	滝沢第二中1	古舘 歩奈	岩大附属中2
	柿崎 千歳	滝沢南中3	小笠原 瑠南	大宮中3

【ピアノ演奏会】 審査なし

	氏 名	居 住 地
芸術祭賞		
審査員特別賞		

【県民文芸作品集】

種 目	賞 名	作 品 名	氏 名	居住地
小説	芸 術 祭 賞	アディショナルタイム	六分儀 サヨコ	花巻市
	優 秀 賞	海底の手記	浅野 文月	北上市
	奨 励 賞	Kasimasi	多田 加久子	花巻市
	奨 励 賞	パートナー	神山 千之	盛岡市
戯曲・シナリオ	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	
	優 秀 賞	賢治嫌い	相馬 杜宇	神奈川県
	奨 励 賞	進むところ帰るところ	GAKUJIN	花巻市
	奨 励 賞	フリーマン!	劇団地底人	二戸市
文芸評論	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	
	優 秀 賞	碌山の「生命」を探して一日記『つくまのなべ』から	内藤 賢一	盛岡市
	奨 励 賞	高村光太郎の山荘生活に思う	丹波 ともこ	盛岡市
随筆	芸 術 祭 賞	父の弁当	平澤 和志	盛岡市
	優 秀 賞	Naturally Ours	藍 沢 篠	滝沢市
	奨 励 賞	娘の最初の友達	兼平 玲子	盛岡市
	奨 励 賞	10年後の春	風張 沙樹	盛岡市
児童文学	芸 術 祭 賞	ダミーネーム	今 和 立	岩手町
	優 秀 賞	回転ずしと「虎舞ずし」	中里 ハルト	盛岡市
	奨 励 賞	starry fall	藍 沢 篠	滝沢市
	奨 励 賞	ドングリ山の秘密	汐 見 遥	久慈市
詩	芸 術 祭 賞	これ	中 舘 公 一	住田町
	優 秀 賞	野外ライブ	白石 松 則	大船渡市
	奨 励 賞	灯火	角 掛 杏 美	滝沢市
	奨 励 賞	断片	一 條 友 希	宮城県
短歌	芸 術 祭 賞	該当作なし		
	優 秀 賞	十年	さいとう しゅう	宮古市
	奨 励 賞	白鳥の脚	遠藤 吉光	盛岡市
	奨 励 賞	道化	藍 沢 篠	滝沢市
俳句	芸 術 祭 賞	夜明け	高橋 和枝	花巻市
	優 秀 賞	夏から秋へと	下河原 正泉	盛岡市
	奨 励 賞	盂蘭盆	和田 タケ	盛岡市
	奨 励 賞	出穂期	上野 節子	花巻市
川柳	芸 術 祭 賞	雑詠	柳清水 広作	洋野町
	優 秀 賞	雑詠	小田 次朗	花巻市
	奨 励 賞	雑詠	佐藤 岳俊	奥州市
	奨 励 賞	雑詠	角掛 往来児	奥州市

【文芸祭】

部門	賞名	作品名等	氏名	居住地
詩	文芸祭賞	エンディング交差点	ルディア・ひろこ	花巻市
	優秀賞	祝辞	伊藤 恵理美	盛岡市
	奨励賞	夢現	藍 沢 篠	滝沢市
短歌	文芸祭賞	わが里をあげて培ふこがねもち実る明りに畦の草刈る	八重嶋 勲	紫波町
	優秀賞	雷いまだならぬ青空見つめつつワクチン接種の列にわがゐる	鎌田 昌子	盛岡市
	奨励賞	山ゆりの咲くべくなりて花の香の風に夫の作業着を干す	伊藤 淑子	北上市
	選者賞 (伊藤幸子選)	逝きしより父の思ひ出磨かれて母の記憶に輝きを増す	赤澤 篤司	盛岡市
	(小笠原和幸選)	唐鍬も四本鍬もそれぞれにインテリアにて茶房を飾る	菅原 正倫	盛岡市
	(折居路子選)	炭をつぎ小豆の鍋を見守りつつ母と並びて来る年待てり	吉田 京子	陸前高田市
	(清水亞彦選)	食卓にアルミのスプーン残りけり抑留帰りの父に後(おく)れて	菊池 陽	北上市
(松田久恵選)	朝明の「ふれあい農園」われ一人マスクはずして大根を蒔く	神原 猛	北上市	
川柳	文芸祭賞	縄文の丘に太古の宙がある	野口 一滴	洋野町
	優秀賞	トランペット吹く故郷へ向けて吹く	馬 渕 草	岩手町
	奨励賞	異常気象野菜も泣いて人も泣く	坂下 一美	宮古市
	特選 (多田幸子選)	異常気象野菜も泣いて人も泣く	坂下 一美	宮古市
	(多田教子選)	糠床を嫁に預けて蝶になる	宇部 功	盛岡市
	(菊池国夫選)	地に還る天与の訛り共にして	山岸 山河	洋野町
	(阿部健一選)	縄文の丘に太古の宙がある	野口 一滴	洋野町
	(伊藤豊志選)	休日の父の電池をぬいておく	あべ 和香	花巻市
	(佐藤岳俊選)	トランペット吹く故郷へ向けて吹く	馬 渕 草	岩手町
(熊谷岳朗選)	生きているポッケに必ず入る砂	岡本ひまわり	宮古市	

13 第74回岩手芸術祭審査員・選者等一覧

【美術部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
日 本 画	土 井 宏 太 郎	画家
	片 山 道 子	岩手県日本画協会理事
洋 画	高 橋 政 子	洋画部門理事
	種 倉 紀 昭	洋画部門理事
	千 菅 浩 信	洋画部門理事
	辻 齊 一	洋画部門理事
	富 田 喜 平 司	洋画部門理事
	成 田 玄 治	洋画部門理事
	西 川 百 合 子	洋画部門理事
	西 村 和 明	洋画部門理事
	乗 上 弘	洋画部門理事
	日 下 信 介	洋画部門理事
版 画	阿 部 陽 子	版画家
	田 村 晴 樹	画家
彫 刻	平 澤 広	萬鉄五郎記念美術館学芸員
工 芸	赤 堀 郁 彦	日展特別会員
	菊 池 房 江	岩手工芸美術協会会長
書 道	吉 田 晨 風	岩手書道協会会長
	堀 内 青 巒	岩手書道協会副会長
	野 田 杏 苑	岩手書道協会副会長
	山 火 葉 舟	岩手書道協会参与
	大 河 原 節 子	岩手書道協会理事
	小 笠 原 光 華	岩手書道協会理事
	澤 藤 華 星	岩手書道協会理事
	玉 澤 岑 砦	岩手書道協会理事
写 真	佐々木 秀 人	合同会社PCT代表・元日本カメラ編集長
デ ザ イ ン	本 村 健 太	岩手大学人文社会科学部教授
	竹 村 育 貴	岩手デザイナー協会会長
現 代 美 術	佐 藤 時 啓	東京藝術大学美術学部教授
水 墨 画	菊 池 一 政	岩手県水墨画協会会長
	岸 本 カヨ子	岩手県水墨画協会副会長
	阿 部 慶 造	岩手県水墨画協会副会長
	工 藤 晴 男	岩手県水墨画協会副会長
	清 水 恒 男	岩手県水墨画協会機関紙部長

【舞台等部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
ピ ア ノ (審 査 な し)		

【文芸部門選者】

県民文芸作品集	
小 説	大 平 し お り
	村 井 直 衛
戯曲・シナリオ	昆 明 男
	落 合 昭 彦
文 芸 評 論	牛 崎 敏 哉
	赤 崎 学
随 筆	須 藤 宏 明
	野 中 康 行
児 童 文 学	千 葉 留 里 子
	藤 原 成 子
詩	糠 塚 玲
	東 野 正
	菊 池 唯 子
短 歌	菊 池 哲 也
	鈴 木 八 重 子
	鷹 觜 真 智 子
	山 内 義 廣
	吉 田 史 子
俳 句	白 濱 一 羊
	小 畑 柚 流
	小 林 輝 子
	名 久 井 清 流
	加 藤 眞 冶 子
	津 志 田 武
	大 石 文 雄
川 柳	あ べ 和 香
	熊 谷 岳 朗
	河 野 康 夫

文 芸 祭	
詩	糠 塚 玲
	東 野 正
	菊 池 唯 子
短 歌	伊 藤 幸 子
	小 笠 原 和 幸
	折 居 路 子
	清 水 亞 彦
松 田 久 惠	
俳 句	中 止
	中 止
川 柳	多 田 教 子
	多 田 幸 子
	菊 池 国 夫
	安 部 健 一
	伊 藤 豊 志
	佐 藤 岳 俊
	熊 谷 岳 朗

【文芸部門文芸祭講師】

種 目	氏 名	備 考
小 説	大 平 し お り	県民文芸作品集選者
	村 井 直 衛	〃
戯曲・シナリオ	絹 川 友 梨	インプロ俳優
文 芸 評 論	赤 崎 学	県民文芸作品集選者
	望 月 善 次	部門実行委員
随 筆	須 藤 宏 明	県民文芸作品集選者
	野 中 康 行	〃

14 第74回岩手芸術祭実行委員会委員一覧

【実行委員会(親)】

区 分		氏 名	摘 要
主 催 者		岡 部 春 美	岩手県文化スポーツ部 文化振興課総括課長
		高 橋 嘉 行	岩手県文化振興事業団理事長
		柴 田 和 子	【実行委員会会長】 岩手県芸術文化協会会長
		藤 沢 清 美	岩手県芸術文化協会副会長
美術部門	版 画	日 山 登 啓	【監事】
	彫 刻	清 武 英 司	
舞 台 等 部 門	演 劇		大 森 健 一
	伝 統 芸 能	邦 楽	室 岡 提 子
		茶 道	鈴 木 宗 基
	音 楽	声 楽	山 口 剛
		弦 楽	菊 池 昭 子
		三 曲	高 橋 法 聖
		吹 奏 楽	安 倍 一 洋
	舞 踊	洋 舞	小 柳 玲 子
		日 舞	若 柳 吉 聖
	演 芸	新 舞 踊	高 橋 ト シ
文 芸 部 門	戯 曲	倉 持 裕 幸	
	俳 句	山 火 律 子	【監事】
小・中学校美術展		大 場 江 利 子	盛岡市立月が丘小学校副校長
地 域		舘 林 克 典	【副会長】 二戸市芸術文化協会会長
		河 東 眞 澄	釜石市芸術文化協会会長

【美術部門実行委員会】

日本画	西川 善有	工 芸	阿部 裕之	デザイン	竹村 育貴
	花立 ゆかり		竹田 康夫		吉田 康則
洋画	石川 西三	書道	吉田 晨風	現代美術	小笠原 卓雄
	岩 渕 毅弘		熊谷 碓斗		浅倉 伸
版画	日山 登啓	写真	井手 清和	水墨画	菊池 一政
	鈴木 和雄		松本 尚子		北村 義美
彫刻	清武 英司				
	曾根 達也				

【舞台等部門実行委員会】

演劇	大森 健一	合唱	山田 靖了	ギター	橋本 博行
	鬼沢 陽子		及川 尚樹		佐藤 勝政
能楽	佐藤 宏明	声乐	山口 剛	管弦楽	寺崎 巖
	菊池 昭二		丸岡 千奈美		田口 博子
邦楽	福士 幸雄	弦楽	菊池 昭子	洋舞	大沼 まゆみ
	室岡 提子		渡辺 めぐみ		藤井 淳子
茶道	鈴木 宗基	三曲	高橋 法聖	日舞	若柳 吉聖
	平野 宗 〇		菊池 捷山		水木 優紅
華道	中村 素瑠	吹奏楽	安倍 一洋	民謡	藤沢 清美
	小原 光衛		佐々木 康徳		山上 衛
吟詠 剣舞 詩舞	立身 岳元	ピアノ	千葉 浩子	新舞踊	高橋 トシ
	金沢 岳貞		成瀬 ゆかり		鈴木 孝四郎

【文芸部門実行委員会】

戯曲	昆 明 男	詩	松崎 みき子	俳句	山火 律子
	倉持 裕幸		兒玉 智江		佐々木 充
文芸 評論	望月 善次	短歌	菊池 唯子	川柳	四日市 洋子
	牛崎 敏哉		山本 豊		熊谷 岳朗
随筆	野中 康行		外館 克裕		山田 美鈴
児文 童学	千葉 留里子		赤澤 篤司		伊藤 豊志
	佐々木 喜久子				
	加藤 典夫				

【実行委員会事務局】

事務局 長	山崎 隆	岩手県文化振興事業団 事務局長
事務局 次長	佐々木 仁志	岩手県芸術文化協会 事務局長
	平井 孝典	岩手県文化振興事業団総務部 総務課長
事務局 員	高橋 円花	岩手県文化スポーツ部文化振興課
	千葉 達也	岩手県文化振興事業団総務部総務課
	猿橋 幸子	〃
	晴山 美香子	〃
	藤村 恵玉	〃
	鈴木 宣子	〃
	岩崎 桂子	岩手県芸術文化協会

15 第74回岩手芸術祭開催状況一覧

事業名		期 日	会 場	入場料金	入場者数	
開幕式典・総合フェスティバル		10月2日(土)	岩手県民会館／大ホール	無料	1,800人	
総合フェスティバルinカシオペア		令和4年1月23日(日)	二戸市民文化会館／大ホール	無料	1,035人	
美 術 展	1 期	日本画／版画 ／水墨画	10月2日(土)～10月5日(火)	岩手県民会館／展示室	高校生以下無料	3,074人
	2 期	写真／デザイン ／現代美術	10月14日(木)～10月17日(日)			
	3 期	洋画／彫刻	10月21日(木)～10月24日(日)			
	4 期	工芸／書道	10月28日(木)～10月31日(日)			
巡 回 美 術 展	美術展入賞作品(77点)		11月10日(水)～11月14日(日)	奥州市文化会館Zホール	無料	772人
			11月23日(火祝)～11月25日(木)	山田町中央公民館		
			12月12日(土)～12月12日(日)	久慈市文化会館アンバーホール		
			12月14日(火)～12月16日(木)	宮古市民文化会館		
			R4年1月21日(金)～23日(日)	二戸市民文化会館／大ホール		
小・中 学 校 美術展	小・中学校 書写、絵画	12月3日(金)～12月5日(日)	岩手県民会館／展示室	無料	2,626人	
巡 回 小・中 学 校 美術展	小・中学校美術展 入賞作品(368点)	令和4年 1月15日(土)～2月20日(日)	久慈市文化会館など4会場	無料	500人	
演 劇	「劇団しばいぬ」公演		中止			—
	映像フェスティバル		12月4日(土)	もりおか町家物語館／浜藤ホール	無料	24人
	「劇研麦の会」公演		11月14日(土)	宮古市民文化会館	無料	285人
	「劇団我夢」公演		中止			—
	「The雲人」公演		12月26日(日)	二戸市民文化会館／大ホール	500円(中学生以下 無料)	150人
伝 統 芸 能	茶会		中止			—
	吟詠剣詩舞道祭		中止			—
	謡と仕舞の会		11月7日(日)	岩手県民会館／中ホール	無料	105人
	華道展		中止			—
	邦楽のつどい		中止			—

音 楽	ソロと室内楽の調べ	中止			—
	ピアノ演奏会	10月24日(日)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	250人
	三曲演奏会	中止			—
	声楽演奏会	中止			—
	ギター音楽の夕べ	11月20日(土)	岩手県民会館／中ホール	700円(500円) 中学生以下300円	166人
	吹奏楽演奏会	11月28日(日)	盛岡市民文化ホール／大ホール	動画配信	240人
	合唱祭	中止			—
	管弦楽フェスティバル	11月14日(日)	田園ホール(矢巾町)	1,000円 高校生以下無料	71人
舞 踊	洋舞公演	10月24日(日)	岩手県民会館／大ホール	無料	782人
	日本舞踊公演	中止			—
演 芸	新舞踊発表会	11月23日(火祝)	陸前高田市民文化会館	2,000円(1,500円)	400人
	民謡まつり	11月7日(日)	岩手県民会館／大ホール	2,000円(1,500円) 高校生以下無料	570人
文 芸 祭	小説大会	10月17日(日)	岩手県民会館／会議室	無料	14人
	戯曲大会	令和4年1月15日(土)	盛岡劇場／タウンホール	500円	17人
	文芸評論大会	10月10日(日)	岩手県民会館会議室	無料	13人
	随筆大会	10月31日(日)	岩手県民会館／会議室	無料	18人
	児童文学大会	10月24日(日)	やはばーく大研修室(矢巾町)	無料	30人
	詩の大会	10月24日(日)	北上市生涯学習センター	1,000円	20人
	短歌大会	10月9日(土)	盛岡市勤労福祉会館	出詠1,000円(学生無料) 会費 500円	94人
	俳句大会	中止			—
	川柳大会	10月16日(土)	あえりあ遠野	2,000円	65人
県民文芸作品集 第52集刊行		小説/戯曲・シナリオ/文芸評論/随筆/児童文学/詩/短歌/俳句/川柳		12月12日刊行	404人
移 動 公 演	演劇公演	11月6日(土)	岩泉町民会館	無料	50人
	新舞踊公演	12月4日(土)	一戸町コミュニティセンター	500円	104人

※料金の()内は、
前売り料金

16 第74回岩手芸術祭市町村別応募作品数一覧

【美術部門】

	市町村	日本画	洋画	版画	彫刻	工芸	書道	写真	デザイン	現代美術	水墨画	計
盛岡	盛岡市	11	48	17	8	21	70	81	27	24	38	345
	八幡平市		1	1		1			1			4
	岩手町				1			3	1	2	1	8
	雫石町	2	11		1			1				15
	葛巻町							3				3
	滝沢市		6	2			12	5	2	2	7	36
	紫波町		7	2	1	5	14	3	5		1	38
	矢巾町	6	5	3		1	3	1		2	1	22
	小計	19	78	25	11	28	99	97	36	30	48	471
中部	花巻市	1	7	1	1	13	5	6	1	3	2	40
	遠野市		8			3	1	2	1			15
	北上市	2	17	2	3	3	5	1	3	4		40
	西和賀町											0
	小計	3	32	3	4	19	11	9	5	7	2	95
県南	奥州市		6	4		4	6	3	1	3	1	28
	金ヶ崎町		1									1
	一関市		10	1	1	2	3	1		2	9	29
	平泉町	2	2			1	1					6
	小計	2	19	5	1	7	10	4	1	5	10	64
沿岸南部	大船渡市		2				1	3		1	3	10
	陸前高田市						2					2
	住田町											0
	釜石市		18	2			4	4	4		1	33
	大槌町							1	3			4
	小計	0	20	2	0	0	7	8	7	1	4	49
宮古	宮古市	2	14	2		1	16	4		3	3	45
	山田町	4				1	1					6
	岩泉町					2		1				3
	田野畑村		1				1					2
	小計	6	15	2	0	4	18	5	0	3	3	56
県北	久慈市		6			1		5				12
	洋野町		1				1					2
	野田村											0
	普代村											0
	二戸市		4		1		4	1				10
	一戸町		2				1					3
	軽米町		3				1					4
	九戸村		2							1		3
	小計	0	18	0	1	1	7	6	0	1	0	34
県外		3	3	1	2			1		2	12	
合計	30	185	40	18	61	152	129	50	47	69	781	

【県民文芸作品集】

		小説	戯曲	文芸評論	随筆	児童文学	詩	短歌	俳句	川柳	計
盛岡	盛岡市	13	3	3	22	3	30	21	46	9	150
	八幡平市					1			2		3
	滝沢市	2			2	1	5	4	3	1	18
	岩手町	1				1				1	3
	雫石町										0
	葛巻町						2		1		3
	紫波町								3	2	5
	矢巾町				2			2	1	1	6
	小計	16	3	3	26	6	37	27	56	14	188
中部	花巻市	3	1	1	9	1	11	6	11	8	51
	遠野市							1		1	2
	北上市	2			2		6	5	15	1	31
	西和賀町										0
	小計	5	1	1	11	1	17	12	26	10	84
県南	奥州市				2		2	8	18	5	35
	金ヶ崎町				2				2		4
	一関市						2	2	8	2	14
	平泉町				1				1	1	3
	小計	0	0	0	5	0	4	10	29	8	56
沿岸南部	大船渡市				1		3				4
	陸前高田市							1	1	2	4
	住田町						1			6	7
	釜石市										0
	大槌町							1			1
	小計	0	0	0	1	0	4	2	1	8	16
宮古	宮古市				2	1	2	2	7	4	18
	山田町							1			1
	岩泉町										0
	田野畑村										0
	小計	0	0	0	2	1	2	3	7	4	19
県北	久慈市					1		1	4	3	9
	洋野町							1	1	4	6
	野田村						3				3
	普代村										0
	二戸市	2	1			1	1	1	1	1	8
	一戸町								1		1
	軽米町										0
	九戸村										0
	小計	2	1	0	0	2	4	3	7	8	27
県外	計		1			1	12				14
合計		23	6	4	45	11	80	57	126	52	404

県外：青森県3、宮城県6、千葉県3、東京都1、神奈川県1

17 第74回岩手芸術祭実行委員会 収支予算書(最終予算)

1 収入の部

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
負 担 金	10,630	主催者、巡回展開催市町村
入 場 料 収 入	0	美術展入場料
諸 収 入	0	広告料、預金利息
繰 越 金	3,799	第73回会計より
合 計	14,429	

2 支出の部

科 目	予算額	備 考
実 行 委 員 会	1,412	功労者表彰、新聞広告、感染症対策
美 術 展	2,422	賞金、会場使用料、部門交付金
巡 回 美 術 展	2,157	写真パネル製作、作品輸送
小 中 学 校 美 術 展	380	小中学校美術展協会交付金
巡回小中学校美術展	40	〃
演 劇	432	部門交付金
伝 統 芸 能	230	〃
音 楽	751	〃
舞 踊	390	〃
演 芸	400	〃
移 動 公 演	480	〃
県民文芸作品集	1,053	選者謝金、賞金、作品集買上
文 芸 祭	490	部門交付金
予 備 費	3,792	
合 計	14,429	

18 第74回岩手芸術祭 芸術祭賞受賞作品

【美術展】



日本画「祈り」花立ゆかり（矢巾町）



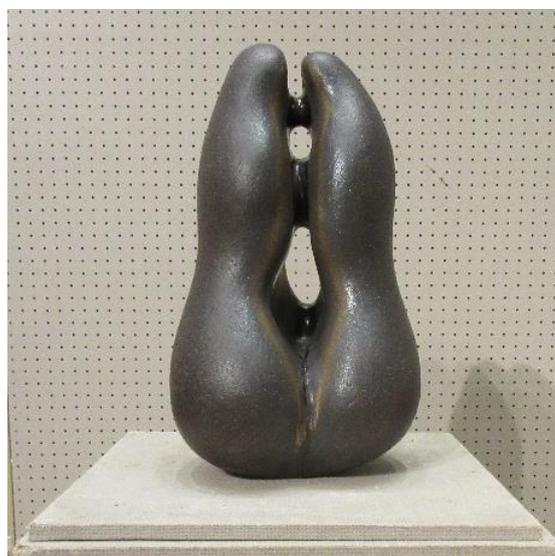
洋画「動物劇場」武藤 章（宮古市）



版画「カーボンニュートラルの灯」金澤龍一（釜石市）

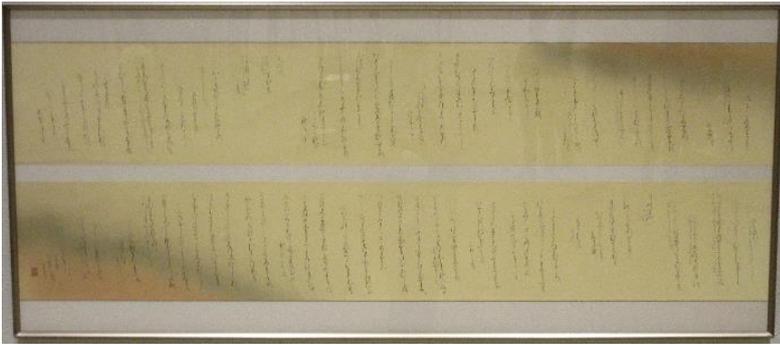


工芸「ケラツキの刻」門馬経智（盛岡市）



彫刻「記憶の形-祈ること-」

井川ゆきな（盛岡市）



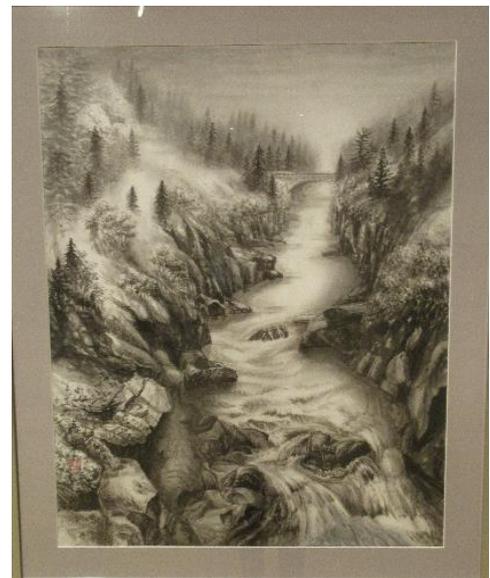
書道「山家集より」丸山篁香（滝沢市）



写真「焰」後藤靖行（盛岡市）



デザイン「剥落」竹内 蒼（盛岡市）



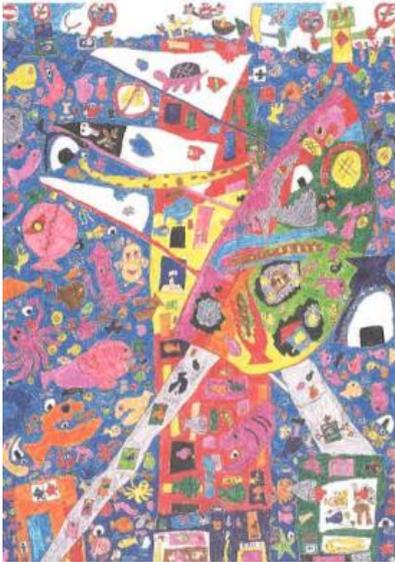
水墨画「巖美流韻」谷藤千嘉子（盛岡市）



現代美術
「滅びない・melt anomalies(五十四)」
浅倉 伸（盛岡市）

【小・中学校美術展】

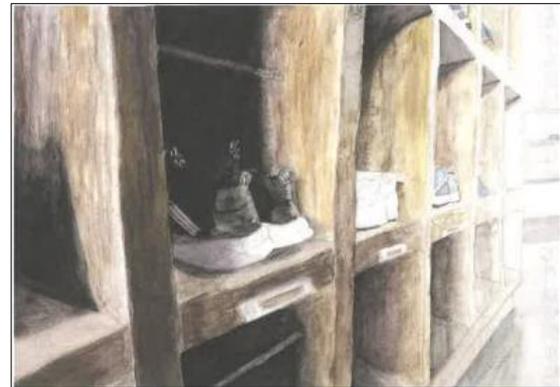
<小学校絵画>



「魚のまち」
花巻市立花巻小学校 2年
長谷川 輝明

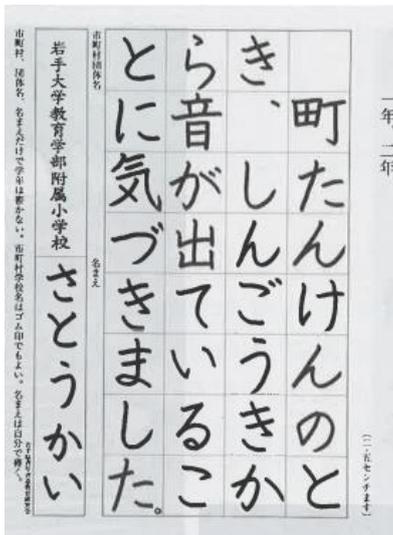


「空の上のすてきなパーティー」
盛岡市立北厨川小学校 3年 加藤 凜



「新学期のウキウキ」
盛岡市立中野小学校 6年 高橋 美優

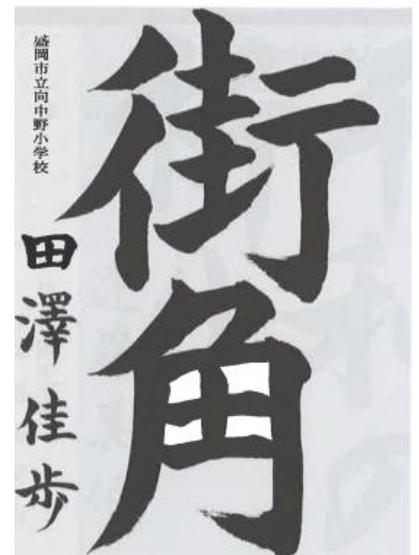
<小学校書写>



岩手大学教育学部附属小学校
2年 佐藤 開

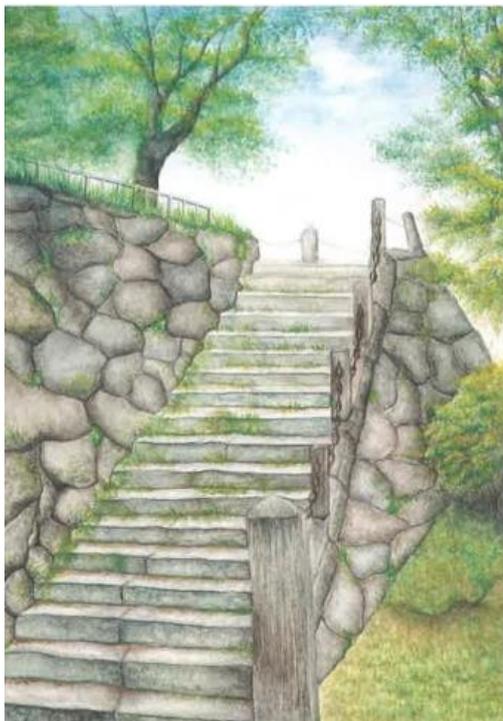


盛岡市立青山小学校
4年 刈澤 杏美



盛岡市立向中野小学校
6年 田澤 佳歩

<中学校美術>



「春の階段を見つめて」

盛岡市立下橋中学校 2年 千葉 寧々



「帰路」

盛岡市立下橋中学校 3年 中條 孝介

<中学校書写>



二戸市立福岡中学校 3年

遠藤 美佑



滝沢市立滝沢中学校 3年

熊谷 寧音

19 ポスターデザイン

【公募ポスター】



【総合ポスター】



【美術展ポスター】



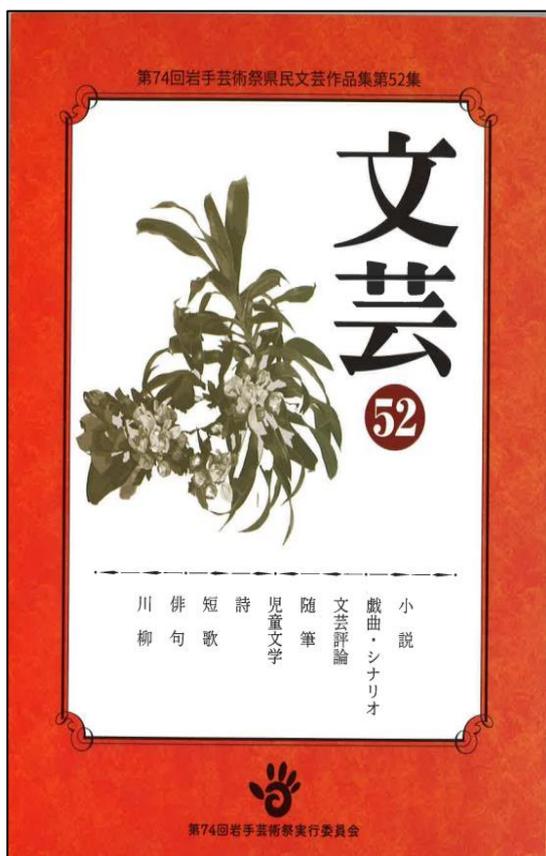
▲ 公募ポスター・総合ポスター

佐々木 海太郎(岩手デザイナー協会)

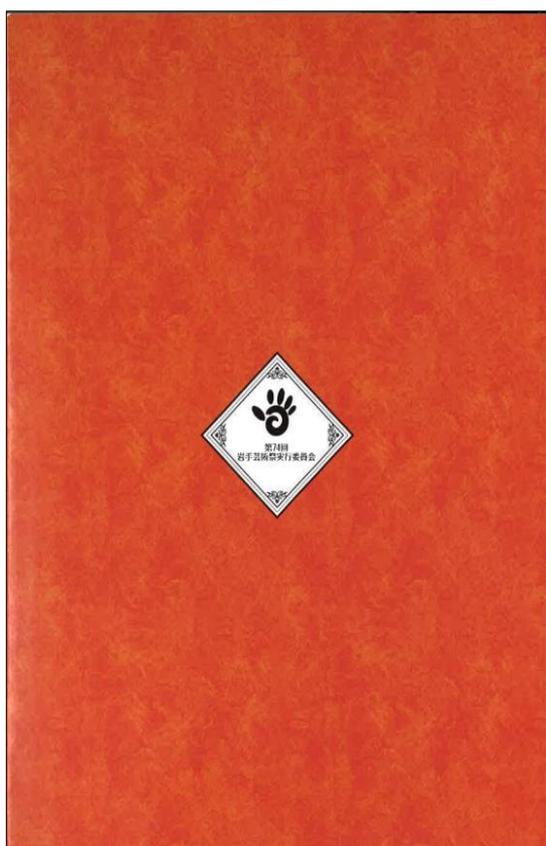
◀ 美術展ポスター

小原 明男(岩手デザイナー協会)

【県民文芸作品集第52集 装丁デザイン】



(表)



(裏)

令和3年度(2021年度)
第74回岩手芸術祭記録集

資 料



第74回岩手芸術祭実行委員会

第74回岩手芸術祭開催要綱

1 趣 旨

県民の優れた芸術文化活動の成果を発表し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、本県芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、豊かな県民性の高揚に資する。

2 名 称

第74回岩手芸術祭

3 主 催

岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会
岩手日報社 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ
岩手朝日テレビ エフエム岩手

4 後 援

盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社
岩手日日新聞社

5 運 営

第74回岩手芸術祭実行委員会

6 期 間

令和3年10月 ～ 令和4年2月

7 会 場

岩手県民会館ほか

8 開催行事

(1) 開幕式典

(2) 美術展（巡回美術展）

日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画

(3) 小・中学校美術展（巡回小・中学校美術展）

小学校絵画、小学校書写、中学校美術、中学校書写

(4) 演 劇

(5) 伝統芸能

能楽、邦楽、茶道、華道、吟剣詩舞道

(6) 音 楽

合唱、声楽、弦楽、三曲、吹奏楽、ピアノ、ギター、管弦楽

(7) 舞 踊

日舞、洋舞

(8) 演 芸

民謡、新舞踊

(9) 移動公演

(10) 文 芸

ア 県民文芸作品集

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳

イ 文芸祭

小説大会、戯曲大会、文芸評論大会、随筆大会、児童文学大会、詩の大会、短歌大会、俳句大会、川柳大会

9 参加作品

- (1) 美術及び文芸の作品並びに声楽及びピアノの演奏発表は、本県関係者の中から公募する。公募要項は、各部門の種目ごとに定める。
- (2) 公募以外の部門の発表、展示等については、各部門が企画し、実行委員会の決定を経て実施する。
- (3) 参加作品は、実施種目ごとに一般公開する。公募作品については、実施種目ごとに公開する範囲を定めるものとする。
- (4) 小・中学校美術展の作品の公募は、岩手県小中学校美術展協会が県内の小・中学校を通じて行うものとする。

10 表彰等

- (1) 特に優れた美術、小・中学校美術及び文芸の作品並びに演奏発表に対しては、審査のうえ、芸術祭賞（文芸祭賞）、優秀賞及び奨励賞を贈る。また、実施種目ごとに部門賞及び入選等を設けることができる。
- (2) 展示、発表作品の審査を行うため、公募部門ごとに審査会又は選者をおく。審査員及び選者は、第74回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する。

11 開催経費

経費は、主催する機関、団体の負担金及びその他の収入をもって充てる。

12 協賛参加

芸術祭に自主的に参加を希望する公演、展示等は、実行委員会会長の協賛参加承認を得て行うものとする。

13 国民文化祭への協賛参加

会期を考慮し、第36回国民文化祭・わかやま2021へ協賛参加するものとする。

第 7 4 回 岩 手 芸 術 祭 運 営 組 織

【実行委員会】

岩手芸術祭主催者
 岩手文化振興事業協同会
 岩手芸術文化協同会
 岩手文化振興事業協同会
 IBCL
 テレ朝日
 めんこ
 岩手フエム

区 分	種 別	実 行 委 員
主 催 者		4人 県文化スポーツ部 文化振興課総括課長 県文化振興事業団理事長 県芸術文化協会会長 〃 副会長
美 術 展 覧 会 (巡 回 美 術 展)	日本画、洋画、版画、彫刻、 工芸、書道、写真、デザイン、 現代美術、水墨画	2人
演 劇	演劇	1人
伝 統 芸 能	能楽、邦楽、茶道、華道、 吟剣詩舞道	2人
音 楽	合唱、声楽、弦楽、三曲、 吹奏楽、ピアノ、ギター、管弦楽	4人
舞 踊	日舞、洋舞	2人
演 芸	民謡、新舞踊	1人
文 芸 (県民文芸作品集) (文芸祭)	詩、短歌、俳句、川柳、児童文学、 戯曲、小説、随筆、文芸評論	2人
小・中 学 校 美 術 展 (巡 回 小 ・ 中 学 校 美 術 展)	小学校 絵画、書写 中学校 美術、書写	1人
地 域		2人 市町村総合芸術文化団体
合 計		21人

実行委員会 会長
 (芸文協会会長)

岩手芸術祭実行委員会事務局
 ◎事務局長
 県文化振興事業団事務局長
 ◎事務局次長
 県芸術文化協会事務局長
 県文化振興事業団総務課長
 ◎事務局員
 県文化振興課職員
 県文化振興事業団職員
 県芸術文化協会職員

【部門実行委員会】

部 門	種 目	部 門 実 行 委 員
美 術	日本画、洋画、版画、彫工、書写、現代水墨画	2人
舞 台 等	演劇、能楽、邦楽、茶道、華道、吟剣詩舞道	2人
	音楽、音楽、8種目、16人	2人
	舞踊、日舞、洋舞、民謡、新舞踊	2人
18	演芸、2種目、4人	2人
文 芸	児童文学、詩、短歌、俳句、川柳、戯曲、随筆、文芸評論	3人
9	文芸、9種目、20人	2人
合 計	7部門 37種目	76人

第74回岩手芸術祭実行委員会会則

(名称)

第1条 この会は、第74回岩手芸術祭実行委員会という。

(目的)

第2条 この会は、岩手芸術祭を円滑かつ総合的、効果的に運営することを目的とする。

(実行委員)

第3条 この会は、次に掲げる実行委員22人以内をもって組織する。

- (1) 岩手県文化スポーツ部文化振興課総括課長の職にある者
- (2) 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長の職にある者
- (3) 一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長及び副会長の職にある者
- (4) 一般社団法人岩手県芸術文化協会会長の推薦に基づき岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱した者
- (5) 岩手県小・中学校美術展協会の会長又は事務局長の職にある者

(役員)

第4条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
 - (2) 副会長 2人
 - (3) 監事 2人
- 2 会長は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長又は会長の職務代理の職にある者をもって充てる。
- 3 副会長及び監事は、実行委員の中から会長が委嘱する。
- 4 役員は、相互にこれを兼ねることができない。

(役員の仕事)

第5条 会長は、この会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ定める順序により職務を代理する。
- 3 監事は、この会の財務を監査する。

(実行委員の任期)

第6条 実行委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

(実行委員会会議)

第7条 この会の会議は、実行委員をもって構成し、岩手芸術祭の開催に係る次に掲げる事項について議決する。

- (1) 総合的な企画及び運営に関すること。

- (2) 事業計画及び予算に関すること。
 - (3) 事業報告及び決算に関すること。
 - (4) その他この会の運営に関する重要な事項
- 2 会議は、会長が招集する。
 - 3 会議の議長は、会長がこれにあたる。
 - 4 会議は、実行委員会の過半数の出席をもって開会し、出席者の過半数をもって決する。

(部門実行委員会)

第8条 岩手芸術祭の各部門の円滑な運営を図るため、必要に応じ、部門実行委員会を置く。

- 2 部門実行委員会は、次に掲げる事項について協議し、各部門の運営にあたる。
 - (1) 各部門の企画及び実施に関すること。
 - (2) 各部門の予算及び決算に関すること。
 - (3) 実行委員会から付託された事項に関すること。
 - (4) その他各部門の運営に関し必要な事項
- 3 部門実行委員会委員は、会長が委嘱する。
- 4 部門実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第9条 この会の事務を処理するため、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

- 2 一般社団法人岩手県芸術文化協会に事務局の分室を置く。
- 3 事務局には、次の職員を置く。
 - (1) 事務局長 1人
 - (2) 事務局次長 2人
 - (3) 事務局員 若干名
- 4 事務局長は、公益財団法人岩手県文化振興事業団事務局長の職にある者をもって充て、その他の職員は会長が委嘱する。

(経費)

第10条 この会の運営に要する経費は、負担金その他の収入をもって支弁する。

(会計年度)

第11条 この会の会計年度は、実行委員会の設置の日に始まり、その年度の末日に終わる。

(補則)

第12条 この会則に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第74回岩手芸術祭美術部門実行委員会運営規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、第74回岩手芸術祭実行委員会会則第8条第4項の規定に基づき、美術部門実行委員会（以下「委員会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委 員)

第2条 委員会は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の推薦に基づき、第74回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する20人以内の委員をもって構成する。

2 委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

(役 員)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長の選任は、委員の互選とする。

3 委員長は、委員会の業務を統括する。

(会 議)

第4条 委員会の会議は、必要に応じて、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長がこれに当たる。

(事務局)

第5条 委員会の事務を処理するため、必要に応じて、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

2 事務局に次の職員を置く。

(1) 事務局長 1人

(2) 事務局次長 2人

(3) 事務局員 若干名

3 事務局の職員は、委員の中から委員長が指名する。

4 事務局長は、委員会の事務を掌理する。

5 事務局次長は、事務局長を補佐する。

6 事務局員は、事務局長の命を受けて、委員会の事務を処理する。

(補 則)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、岩手芸術祭に関する功労について顕彰し、岩手芸術祭の発展に資することを目的とする。

(感謝状を贈呈される者)

第2条 感謝状を贈呈される者は、個人又は団体であって、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、多年にわたり芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募作品の審査員又は選者として、多年にわたり部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭の各部門の指導者として、永年にわたり後進の育成に尽力した者
- (4) その他特に表彰に値する功績があると認められた者

(方 法)

第3条 顕彰は感謝状を贈呈して行い、その氏名及び団体名並びに事績を顕彰録等によって公表する。

- 2 感謝状には、記念品を併せて贈ることができる。
- 3 故人の場合は、感謝状その他を遺族に贈り追彰する。

(実 施)

第4条 感謝状を贈呈される者は、岩手芸術祭実行委員会において承認されなければならない。

- 2 感謝状及び記念品は、岩手芸術祭実行委員会会長の名によって授与する。
- 3 その他この規程に関し必要な事項は、別に会長が定める。

附 則

この規程は、昭和55年5月21日から施行する。

附 則

この規程は、平成元年9月5日から施行する。

岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する選考基準

1 趣旨

この基準は、岩手芸術祭実行委員会が感謝状を贈呈することについて、必要な事項を定めるものとする。

2 感謝状を贈呈される者

感謝状を贈呈される者は、次の各号に該当する者とする。

ただし、刑罰（道路交通法関係を含む。）を受けて2年を経過しない者は対象としない。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、概ね10年以上にわたって、岩手芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募部門の審査員又は選者として、概ね10年以上にわたって部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭各部門の指導者として、概ね20年以上にわたって後進の育成に尽力した者で、概ね60歳を超えている者
- (4) その他岩手芸術祭の運営等に携わり多大な功績を示し、特に表彰に値すると認められる者

岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認事務手続要領

1 申請手続

主催者は、当該事業が実施される期日（ポスターその他の印刷物等に「岩手芸術祭協賛事業」の名義を印刷する場合は、その印刷日）の遅くとも1か月前までに、岩手芸術祭実行委員会会長（以下「会長」という。）あての申請書（様式1）を提出するものとする。

この申請書には、次の書類を添付しなければならない。

- (1) 事業の概要（事業の目的、実施日時、会場、事業内容、事故防止対策、公衆衛生対策、入場料、共催・後援団体名等）
- (2) 事業の収支予算書
- (3) 主催者が民間団体である場合は、定款、寄附行為、会則、役員名簿、会員数、活動状況等当該団体の性格及び内容を明らかにする書類

2 承認の基準

岩手芸術祭協賛事業の名義の使用を承認する基準は、次のとおりとする。

- (1) 主催者が、次のいずれかに該当するものであること。
 - ア 国又は地方公共団体（公社、公団を含む。）
 - イ 公益法人（宗教法人を除く。）
 - ウ 新聞、ラジオ、テレビ等の報道機関
 - エ 岩手芸術祭の趣旨に沿う事業を実施しようとする企業等
 - オ 芸術文化団体、実行委員会その他の公益的団体（芸術文化活動そのものを目的としたものに限る。）
 - カ その他上記に準ずると認められるもの。
- (2) 事業の内容が、次の各号に適合するものであること。
 - ア 事業の内容が岩手芸術祭の趣旨に沿うものであること。
 - イ 事業が、特定の範囲ではなく、一般の人に公開されるものであること。
 - ウ 事業の資金計画が十分なものであること。
 - エ 営利を目的としないものであること。
 - オ 事業の実施に当たっては、事故防止対策、公衆衛生対策等に十分な措置が講ぜられているものであること。

3 承認の手続

会長は、主催者からの申請書を受理した場合は、2の基準に基づいて審査し、結果を申請者に文書により通知するものとする。

4 主催者の責務

- (1) 事業の主催者及び関係者は、岩手芸術祭の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (2) 事業の主催者及び関係者は、2に掲げる基準の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (3) 事業の主催者は、所属する職員や関係者等が、前2号に該当する行為を行っている疑いがある場合は、会長に報告するとともに、必要な調査を行い、その事実が判明した場合は速やかに是正するとともに、その結果を会長に報告しなければならない。
- (4) 事業の主催者は、前号に係わり、会長から是正等についての指示があった場合は、これに従わなければならない

5 承認の取消

事業の主催者が4の(4)の指示に従わないときは、会長は、承認を取り消すこととする。

6 事業実施報告

事業の主催者は、事業の終了後、1か月以内に事業報告書（様式2）を会長に提出しなければならない。

(様式1)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会
会長 様

〔申請者〕

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認について

下記事業について、第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の目的
- 3 事業の主催者
- 4 事業の実施期間及び会場

(添付書類)

- 1 事業概要（内容、入場料、後援団体等）が明らかになる書類
- 2 事業の収支予算書
- 3 主催者が民間団体の場合は、会則、役員名簿、会員名簿、活動状況等団体の性格・内容が明らかになる書類
- 4 その他必要と認める書類

(様式2)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会
会長 様

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認に係る事業報告について
年 月 日付け岩手芸術祭第 号で承認された事業が終了したので、関係書類
を添えて報告します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の主催者
- 3 事業の実施期間
- 4 会場
- 5 出演者・出品者数
- 6 入場者数

(添付書類)

事業の収支決算書、後援者、プログラム・パンフレット、事業の内容を撮影した写真等を添付すること。

作品の規格

- 作品は、すべて併付として表装すること(ガラス抜き)を原則とし、軸装も許可する。
- 100号以内とする。
- 寸法は、枠付で測ること。
- 作品は、すぐ展示できるように、金具・吊具を必ずつけること。
- 1点3,000円、2点5,000円
山田善有(岩手県日本画協会会長) 片山道子(同理事)
感染症対策のため、今回は中止とする。
- 岩手県民会館第1会議室にて、作品搬入・受付を行う。
- 花立ゆかり 〒028-3615 紫波郡矢野町南矢幅5-92-5-204 TEL090-3587-1734

出品作品

出品者のオリジナル作品とする。
※公募要項【6公募作品】の「未発表作品」の扱いについて、洋画部門では「審査を伴う公募展等に未発表の作品」とし、個展やグループ展など、審査のない展覧会で発表した作品は出品できる。額を含み各辺2 m以内、突出は50cmまでとする。規格サイズの場合は、S120号(194×194cm)まで。F130号(194×162cm)は可。動植物、悪魔を発する作品、腐敗する可能性のある作品を除く。作品保護のため、画面より突出した額(ガラスなし、アクリル板可)を付けること。作品裏には作品重量に十分耐え得る吊具、ひも、針金等を必ずつけること。
本年2点まで 1点の場合は4,000円(高校生は2,000円)、2点の場合は6,000円(高校生は3,000円)
本年度の洋画部門芸術祭賞受賞者は、次年度に限り招待する。出品は本人の意思に委ねる。
洋画部門理事
10月24日(日)14時～ 岩手県民会館第2展示室 審査員と出品者による合評会を開催する。
岩刈敏弘 〒020-0866 盛岡市本宮字松幅12-3 県立美術館内 TEL019-658-1711

出品作品

版画は自由。公募展未発表の自作の版表現されたもので、複製表現できるもの。(手彩色手法の作品は認めない)作品には題名とサインを必ず記入すること。
額装を含めて縦・横180cm以内の陳列に支障のないもの。
阿部陽子(版画家) 田村晴樹(画家)
1人2点まで3,000円、3点まで5,000円

作品の規格

- 出品点数・出品料
審査員
合評会
事務局
10月5日(火)14時～ 岩手県民会館第1展示室において審査員を囲んで実施する。
鈴木和雄 〒028-3601 紫波郡矢野町高田9-40-15 TEL019-611-0575

作品の規格

- 出品点数・出品料
審査員
事務局
2 m×2 m以内のオリジナル作品とし、会場汚損並びに顧客に危害を及ぼす恐れのある作品及びび画像彫刻を除く。ただし、50kgを超す作品については、展示・運搬は出品者自身が行うものとする。
1点3,000円(高校生は1,000円)、1点増すごとに1,000円加算
平澤 達(萬葉五郎記念美術館学芸員) 菊池厚江(岩手工芸美術協会展長)
曽根 広 〒028-3615 紫波郡矢野町南矢幅9-1-1 県立不来方高等学校内 TEL019-697-8247

出品作品

美術工芸並びに産業工芸等、いずれの性格のものでも構わないが、**制作性の高い未発表のもの**であること。
【壁面】180cm×150cm以内 重量50kg以内
【立体】50cm×50cm×50cm以内 重量15kg以内
立方体でない場合はおおよその換算による大きさとする。
1点4,000円、1点増すごとに1,000円加算
赤堀郁彦(日展特別会員) 菊池厚江(岩手工芸美術協会展長)
工芸セミナー(審査講評を兼ねながら) 9月12日(日)14時～15時 エスポワールいわて3階
竹田康夫 〒028-4134 盛岡市下田字陣場41-43 TEL019-683-1425

作品の種類・規格

- 種別 漢字、かな、篆刻・刻字、漢字かな交じり書(近代詩文書等)、前衛書
横1辺182cm(6尺)以内、縦1辺242cm(8尺)以内、面積1.48㎡(16平方尺)以内、重量15kg以内
- 仕上がり寸法 額、裱装(帖、軸装は認めない) ガラス入りは認めない(アクリルは可)
- 仕立 額、裱装(帖、軸装は認めない) ガラス入りは認めない(アクリルは可)
- 1人1点4,500円
吉田 農風(岩手書道協会会長) 堀内青輔(同副会長) 野田古苑(同副会長) 山火薬舟(同参与)
大河原節子(同理事) 小笠原光華(同理事) 澤藤華星(同理事) 玉澤翠岩(同理事)
- 10月31日(日)14時～ 岩手県民会館第2展示室
熊谷暁斗 〒028-3305 紫波町日語字朝日田1 県立紫波総合高等学校内 TEL019-672-3690

出品作品・規格

- テーマ 自由、モノクロ、カラー、いずれも可。未発表作品であること。
※被写体が人物の場合、応募に際して必ず被写体本人の承諾を得ること。
- サイズ 単写真・組写真・連写真を問わず、いずれも全体の仕上がりは、外寸42cm×51cm以上外寸120cm×210cmまでとする。
- 木製パネルに限る。
組写真に紐を付けること。組写真・連写真は連結して搬入すること。
④そのままである写真、複製の活用など目的の作品に準ずるもの、及びガラス入り額装の恐れのあるものは受け付けない

審査員

佐々木秀人(合同会社CT代表、元日本カメラ編集長)
審査:9月12日(日)10時～公判審査とする。ただし、感染症対策のため入場制限をかける場合がある。
1人2点まで 42cm×51cm以上長辺100cmまで3,000円、左の寸法を超える長辺210cmまで4,000円、高校生1,000円
搬入受付・公開審査は岩手県民会館2階旧レストランで行う。展示は入選作以上とする。
応募等の詳細は岩手県写真連盟公式ホームページ(iwateken-shashin-renmei.jimdofree.com/)参照。
松本尚子 〒020-0015 盛岡市本町通1-16-1 TEL019-623-8281

写真

応募資格

一般・大学生・専門学校生・高校生
平面デザインに限る。(立体及び半立体は不可)社会的規範に反する作品は展示しない場合がある。
作品は必ず展示できるようにパネル裏面に必ず吊り金具、ひも等を付けること。

出品作品

A部門 ポスター及びイラストレーション
課題作品＝(盛岡ロータリークラブ協賛)21世紀の地球環境を考える。(地球を取り巻く環境全般をテーマとする)「盛岡ロータリークラブ」を明記すること。マークは位置指定のみでも可。
A部門 自由作品はB0判パネル(145.6cm×103cm)、B1判パネル(103cm×72.8cm)、B2判パネル(72.8cm×51.5cm)
課題作品はB1判パネル(103cm×72.8cm)タテ位置に限る。
B部門 課題作品の種類欄には、出品部門(A部門またはB部門)を記入のこと。
※出品目録の種類欄には、出品目録ごとに1,000円加算)

出品料

一般/1点3,000円(1点増すごとに1,000円加算)
大学生・専門学校生・高校生/1点1,000円(1点増すごとに500円加算)
本村健太(岩手大学人文社会科学部教授) 竹村晋貴(岩手デザイナー協会会長)
審査:公開審査 9月12日(日)10時～11時30分 岩手県民会館第1展示室
佐々木海太郎 〒020-0132 盛岡市西青山13-35-12 グラフイコー内 TEL019-647-3380

出品作品

現代美術とは「ものを見ること(視覚認識)」や「社会をどう見つめるか」ということを常に問題にしている。平面、立体、映像、インスタレーション、苦響を含むものなど、様式や技法にとらわれない表現を扱う。屋内と野外展示(緑の広場)の2会場で募集する。
屋内展示 立体、インスタレーション＝床面積15㎡以内×高さ4 m以内、平面＝10㎡以内
野外展示 会場、緑の広場125㎡以内 ※野外展示については必ず8月26日(木)までに事務局へ問い合わせの上、詳細を事前に確認すること。作品の規格が展示会場管理者の基準に外れる場合は展示を許可できない場合もある。

作品の規格

- 出品点数・出品料
審査員
事務局
1人2点まで 1点4,000円、2点5,000円(学生は1点3,000円、2点4,000円)
佐藤時啓(東京藝術大学美術学部教授)
浅倉 伸 〒020-0862 盛岡市東山北2-2-29 TEL090-7337-7232(直通)

作品の規格

- 作品寸法 F 8 (38×45.5)以上～和紙全紙を目途
- 表装 額装(アクリル使用のこと、ガラス不可)・軸装
- 1人1点4,000円
- 9月3日(金)までに事務局に申し込むこと。
- 菊池一政(岩手県水墨画協会会長) 岸本カヨ子(同副会長) 阿部慶造(同副会長)
- 工藤晴男(同副会長) 清水恒男(同機関紙部長)
- 北村義美 〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 TEL019-661-8923

出品点数・出品料

出品申込
審査員
事務局
1人1点4,000円

出品料

審査員
事務局
1人1点4,000円

作品の規格

- 出品点数・出品料
審査員
事務局
1人1点4,000円

作品の規格

- 作品寸法 F 8 (38×45.5)以上～和紙全紙を目途
- 表装 額装(アクリル使用のこと、ガラス不可)・軸装
- 1人1点4,000円
- 9月3日(金)までに事務局に申し込むこと。
- 菊池一政(岩手県水墨画協会会長) 岸本カヨ子(同副会長) 阿部慶造(同副会長)
- 工藤晴男(同副会長) 清水恒男(同機関紙部長)
- 北村義美 〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 TEL019-661-8923

出品申込

審査員
事務局
1人1点4,000円

作品の規格

- 作品寸法 F 8 (38×45.5)以上～和紙全紙を目途
- 表装 額装(アクリル使用のこと、ガラス不可)・軸装
- 1人1点4,000円
- 9月3日(金)までに事務局に申し込むこと。
- 菊池一政(岩手県水墨画協会会長) 岸本カヨ子(同副会長) 阿部慶造(同副会長)
- 工藤晴男(同副会長) 清水恒男(同機関紙部長)
- 北村義美 〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 TEL019-661-8923

出品申込

審査員
事務局
1人1点4,000円

作品の規格

- 作品寸法 F 8 (38×45.5)以上～和紙全紙を目途
- 表装 額装(アクリル使用のこと、ガラス不可)・軸装
- 1人1点4,000円
- 9月3日(金)までに事務局に申し込むこと。
- 菊池一政(岩手県水墨画協会会長) 岸本カヨ子(同副会長) 阿部慶造(同副会長)
- 工藤晴男(同副会長) 清水恒男(同機関紙部長)
- 北村義美 〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 TEL019-661-8923

出品申込

審査員
事務局
1人1点4,000円

日本画

- 作品は、すべて併付として表装すること(ガラス抜き)を原則とし、軸装も許可する。
- 100号以内とする。
- 寸法は、枠付で測ること。
- 作品は、すぐ展示できるように、金具・吊具を必ずつけること。
- 1点3,000円、2点5,000円
山田善有(岩手県日本画協会会長) 片山道子(同理事)
感染症対策のため、今回は中止とする。
- 岩手県民会館第1会議室にて、作品搬入・受付を行う。
- 花立ゆかり 〒028-3615 紫波郡矢野町南矢幅5-92-5-204 TEL090-3587-1734

洋画

出品者のオリジナル作品とする。
※公募要項【6公募作品】の「未発表作品」の扱いについて、洋画部門では「審査を伴う公募展等に未発表の作品」とし、個展やグループ展など、審査のない展覧会で発表した作品は出品できる。額を含み各辺2 m以内、突出は50cmまでとする。規格サイズの場合は、S120号(194×194cm)まで。F130号(194×162cm)は可。動植物、悪魔を発する作品、腐敗する可能性のある作品を除く。作品保護のため、画面より突出した額(ガラスなし、アクリル板可)を付けること。作品裏には作品重量に十分耐え得る吊具、ひも、針金等を必ずつけること。
本年2点まで 1点の場合は4,000円(高校生は2,000円)、2点の場合は6,000円(高校生は3,000円)
本年度の洋画部門芸術祭賞受賞者は、次年度に限り招待する。出品は本人の意思に委ねる。
洋画部門理事
10月24日(日)14時～ 岩手県民会館第2展示室 審査員と出品者による合評会を開催する。
岩刈敏弘 〒020-0866 盛岡市本宮字松幅12-3 県立美術館内 TEL019-658-1711

版画

版画は自由。公募展未発表の自作の版表現されたもので、複製表現できるもの。(手彩色手法の作品は認めない)作品には題名とサインを必ず記入すること。
額装を含めて縦・横180cm以内の陳列に支障のないもの。
阿部陽子(版画家) 田村晴樹(画家)
1人2点まで3,000円、3点まで5,000円

彫刻

出品点数・出品料
審査員
事務局
2 m×2 m以内のオリジナル作品とし、会場汚損並びに顧客に危害を及ぼす恐れのある作品及びび画像彫刻を除く。ただし、50kgを超す作品については、展示・運搬は出品者自身が行うものとする。
1点3,000円(高校生は1,000円)、1点増すごとに1,000円加算
平澤 達(萬葉五郎記念美術館学芸員) 菊池厚江(岩手工芸美術協会展長)
曽根 広 〒028-3615 紫波郡矢野町南矢幅9-1-1 県立不来方高等学校内 TEL019-697-8247

工芸

美術工芸並びに産業工芸等、いずれの性格のものでも構わないが、**制作性の高い未発表のもの**であること。
【壁面】180cm×150cm以内 重量50kg以内
【立体】50cm×50cm×50cm以内 重量15kg以内
立方体でない場合はおおよその換算による大きさとする。
1点4,000円、1点増すごとに1,000円加算
赤堀郁彦(日展特別会員) 菊池厚江(岩手工芸美術協会展長)
工芸セミナー(審査講評を兼ねながら) 9月12日(日)14時～15時 エスポワールいわて3階
竹田康夫 〒028-4134 盛岡市下田字陣場41-43 TEL019-683-1425

書道

- 種別 漢字、かな、篆刻・刻字、漢字かな交じり書(近代詩文書等)、前衛書
横1辺182cm(6尺)以内、縦1辺242cm(8尺)以内、面積1.48㎡(16平方尺)以内、重量15kg以内
- 仕上がり寸法 額、裱装(帖、軸装は認めない) ガラス入りは認めない(アクリルは可)
- 仕立 額、裱装(帖、軸装は認めない) ガラス入りは認めない(アクリルは可)
- 1人1点4,500円
吉田 農風(岩手書道協会会長) 堀内青輔(同副会長) 野田古苑(同副会長) 山火薬舟(同参与)
大河原節子(同理事) 小笠原光華(同理事) 澤藤華星(同理事) 玉澤翠岩(同理事)
- 10月31日(日)14時～ 岩手県民会館第2展示室
熊谷暁斗 〒028-3305 紫波町日語字朝日田1 県立紫波総合高等学校内 TEL019-672-3690

写真

- テーマ 自由、モノクロ、カラー、いずれも可。未発表作品であること。
※被写体が人物の場合、応募に際して必ず被写体本人の承諾を得ること。
- サイズ 単写真・組写真・連写真を問わず、いずれも全体の仕上がりは、外寸42cm×51cm以上外寸120cm×210cmまでとする。
- 木製パネルに限る。
組写真に紐を付けること。組写真・連写真は連結して搬入すること。
④そのままである写真、複製の活用など目的の作品に準ずるもの、及びガラス入り額装の恐れのあるものは受け付けない

審査員

佐々木秀人(合同会社CT代表、元日本カメラ編集長)
審査:9月12日(日)10時～公判審査とする。ただし、感染症対策のため入場制限をかける場合がある。
1人2点まで 42cm×51cm以上長辺100cmまで3,000円、左の寸法を超える長辺210cmまで4,000円、高校生1,000円
搬入受付・公開審査は岩手県民会館2階旧レストランで行う。展示は入選作以上とする。
応募等の詳細は岩手県写真連盟公式ホームページ(iwateken-shashin-renmei.jimdofree.com/)参照。
松本尚子 〒020-0015 盛岡市本町通1-16-1 TEL019-623-8281

美術展出品受付証

出品料	金	円也
出品作品	点受付	
出品作品	様	令和3年9月 日
第74回岩手芸術祭美術部門実行委員会	部門	
受付受領	印	
作品番号(事務局記入)	*	
作品番号	*	

搬出方法

▼本人 ▼委託業者名 TEL

●県外の応募者は、岩手県との関わりをご記入ください。(例：出身地名、在籍した学校名など)

岩手県との関わり：

部門／出品目録

男・女 年齢 歳 職業

TEL (自宅)

TEL (携帯)

種別

大 小

出品票(洋画・書道部門以外)	
作品番号	題名
氏名	TEL
住所	TEL

出品票(洋画・書道部門以外)	
作品番号	題名
氏名	TEL
住所	TEL

●出品票は作品裏面に貼付 ●作品番号は記入しないこと

●出品票は作品裏面に貼付 ●作品番号は記入しないこと

第74回(令和3年度)岩手芸術祭『県民文芸作品集』第52集公募要項

- 趣 旨
第74回岩手芸術祭の一環として、『県民文芸作品集』を刊行し、文芸活動の振興を図る。
- 主 催
岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手
後 援 盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
4 運 営 第74回岩手芸術祭実行委員会
5 応募資格
岩手県在住者(経験者も含む)、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方
県外の応募者にあつては岩手県との関わりを記入すること。(か)つて居住した岩手県の市町村名など)
- 公募種目

種 目	内 容	規 格	その他 (下記参照)	
			題 名	頁 数
小説	1人1篇	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	(1)・(2)
戯曲・シナリオ	1人1篇 ①演劇一幕もの ②ラジオドラマ ③テレビドラマ	原稿用紙50枚程度 (①～③を明示) 点字は66枚程度	1行目	(1)・(2)
文芸評論	1人1篇。研究的内容のものも可とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	(1)・(2)
随 筆	1人1篇	原稿用紙6枚 点字は6枚	欄外	(1)・(3)
児童文学	1人1篇、フィクション、ノンフィクションを問わない。 少年少女小説、童謡の場合は3篇以内とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	(1)・(2)・(4)
詩	1人3篇以内とする。	1篇につき 原稿用紙3枚以内	1行目	(1)・(5)
短 歌	1人10首	原稿用紙1枚	欄外	(1)・(6)
俳 句	1人雑詠5句1組	ハガキ1枚又はメールにて応募のこと。 (句数が不足しないこと)	1行目	(7)
川 柳	1人雑詠7句		—	—

- 上記規格「原稿用紙」は400字詰め原稿用紙であること。縦書き、右上綴じとし、ページ番号を付すこと。行あけ等を明確にすること。
 - 小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、児童文学において、35字×35行程度に適宜割付けた場合は、400字詰め原稿用紙換算枚数を明記すること。
 - 随筆の枚数は本文のみとする。題名は欄外に記入し、1行目から本文を書き始めること。題名、住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
 - 児童文学については、1枚目には氏名を書かず、題名、本文から書き始めること。題名、住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
 - 詩については、行あけを明確にし、欄外に1篇毎の通し番号(篇-頁:1-1、1-2、...2-1、2-2、...)を付すこと。住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
 - 短歌については、欄外に題名を記入すること。住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)は裏面に記載すること。
 - 俳句については、雑詠5句を1組として、組の題名を記入すること。
- ※点字の場合、32マスの点字器を使用した場合、点字用紙片面打ち16行を1枚とする。他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。
- (1) 会話の部分は行を改め、「」を使用すること。
(2) 段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。
(3) 繰返符号は用いないこと。
(4) 句点を入れること。
(5) 墨字訳に当たって使用を希望する漢字がある場合は、別紙に簡条書きにすること。

7 応募上の注意

- 未発表の創作作品であること。(公表されていたことが確認された場合には、入賞・入選を取り消すことがある。ただし、戯曲・シナリオについては、上演済みの作品も可。)
- 原稿用紙(A4またはB4)には、ペン又はボールペンを使用し、鉛筆は使用しないこと。(ワープロも可)
- 投稿後の訂正は認めないので、推敲のうえ、かい書で清書して、完全原稿で応募すること。
- 応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。
- 応募作品の末尾(別紙可、短歌にあつては裏面)に、①住所、②氏名(筆名を使用する場合でも、本名を必ず記入すること)、③年齢、④性別、⑤電話番号及び(お持ちの方は)電子メールアドレスを記入すること。
- 応募締切 令和3年8月31日(火)当日消印有効(受付開始は7月1日(木)とする。)
- 応募方法(次の(1)または(2)のいずれか)
(1) 電子メール: i-geijutsu@iwate-bunshin.jp (岩手芸術祭実行委員会事務局)
標題に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と明記し、応募作品はWord等のファイルにして添付のうえ送信すること。ただし、短歌・俳句・川柳の作品については、本文記載も可とする。
メール送信後1週間以上、作品を受信した旨の返信がない場合は事務局まで電話で問い合わせること。
- 郵送: 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
岩手県会館内 岩手芸術祭実行委員会『県民文芸作品集』係
封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

10 選 者

小 説	大平しおり	村井 直樹	菊池 唯子	山内 義廣	吉田 史子
戯曲・シナリオ	昆 明 男	落合 昭彦	鷹篤真智子	山内 清流	加藤真治子
文 芸 評 論	牛崎 敏哉	赤崎 学	小林 輝子	名久井清流	
随 筆	須藤 宏明	野中 康行	藤原 成子		
児 童 文 学	千葉留里子	藤原 成子			
詩	糠塚 玲	東野 正			
短 歌	菊池 哲也	鈴木八重子	小畑 文雄		
俳 句	津志田 武	白濱 一羊	大石 文雄		
川 柳	あべ 和香	熊谷 岳朗	河野 康夫		

11 入 賞

- 入賞【全種目】芸術祭賞(1点・賞金3万円)、優秀賞(1点・賞金2万円)、奨励賞(2点・賞金1万円)
入選【種目による】佳作、選者賞など

12 審査結果

入賞、入選者には本人宛通知する。また、入賞者は、令和3年10月1日(金)に岩手県文化振興事業団のホームページ上で発表する。

13 表彰式 令和3年12月11日(土) サンセール盛岡

14 作品の発表

入賞作品は、『県民文芸作品集』に掲載する。なお、詩、短歌、俳句及び川柳の4種目については、入選作品も掲載する。

15 『県民文芸作品集』刊行予定日 令和3年12月11日(土)

16 個人情報の取り扱い

応募者の個人情報、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者については、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。問合せ先

17 岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内) 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
電話 019-654-2235 FAX 019-625-3595 mail:i-geijutsu@iwate-bunshin.jp



(5) 児童文学

日時 令和3年10月24日(日)午後1時30分～午後3時30分
会場 矢野町活動交流センター(大研修室(矢野町駅東1-12-1))
内容 ①県民文芸作品集応募作品の選評 講師 藤原 成子
②講演「岩手医大と宮沢賢治」 講師 牛崎 敏哉(宮沢賢治記念館学芸員)
参加申込 往復はかき又はメールで事務局まで。定員50名になり次第締め切り。
事務局 千葉留里子
〒020-0114 盛岡市高松2-25-30 電話 019-661-6672 メール ruri60-60@outlook.jp
運営委員 千葉留里子 加藤 典夫 佐々木喜久子

(6) 詩

日時 令和3年10月24日(日)午前10時～
会場 北上生涯学習センター第1学習室(北上市大通1-3-1)
内容 1,000円(当日受付、資料代ほか)
応募作品 未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、1編につき3枚以内で右綴じのこと。
選者 蕪塚 玲 東野 正 菊池 唯子
発表者 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか。
公募期間 令和3年7月1日(木)より9月2日(木)《必着
記入の上、同封のこと》

趣旨 第74回岩手芸術祭の一環として、『文芸祭』を開催し、文芸活動の振興を図る。
主催 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社
1 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手
2 後援
3 運営 岩手県教育委員会 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
4 岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方
5 応募及び大会参加資格
6 第74回岩手芸術祭実行委員会(※大会の内容に関する問い合わせは各大会事務局まで)
種目毎の大会の内容

なお、今年度の俳句大会は開催見合わせとします。
(1) 小説
日時 令和3年10月17日(日)午後1時30分～ ※10月11日までに申し込みこと。
会場 岩手県民会館第2会議室(盛岡市内丸13-1)
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師 大平しおり 村井 直衛
事務局 第74回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019-654-2235 FAX 019-625-3595

(2) 戯曲

日時 令和4年1月15日(土)午後1時30分～午後4時30分
会場 盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)
参加費 500円
内容 戯曲と演劇に関わるワークショップ
事務局 高村 明彦[〒020-0051 盛岡市下太田沢68-18 電話 090-1498-3591]
運営委員 昆 明男 倉持 裕幸 高村 明彦

(3) 文芸評論

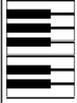
日時 令和3年10月10日(日)午後1時～午後5時(午後0時30分～受付)
会場 岩手県民会館第3会議室(盛岡市内丸13-1)
内容 小講演と研究発表
小講演 「文学における言語～二重の虚構性再び～」 講師 望月 善次
「(演題未定)」 講師 赤崎 学
研究発表：1～3人
★発表資格：次の1.又は2.のいずれかを満たす方
1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者
2.9月8日(水)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方
なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。
無料
参加費 牛崎 敏哉[〒025-0001 花巻市天下田150-14 電話 090-2932-2628]
事務局 牛崎 敏哉
運営委員 望月 善次

(4) 随筆

日時 令和3年10月31日(日)午後1時30分～ ※10月18日までに申し込みこと。
会場 岩手県民会館第1会議室(盛岡市内丸13-1)
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師 須藤 宏明 野中 康行
事務局 第74回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019-654-2235 FAX 019-625-3595



第74回岩手芸術祭
音楽部門ピアノ演奏会
出演者公募要項



- 趣 旨**
県内に居住するピアノ学習者及び演奏家に、日ごろの活動成果を発表する機会を提供し、広く県民に披露することにより、ピアノ音楽の活性化を願い、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的とする。
- 主 催**
岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社 IBC岩手放送
テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手
- 後 援**
盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
- 運 営**
第74回岩手芸術祭実行委員会 一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会
- 開催日時**
令和3年10月24日(日)(開場14:30)開演15:00～
- 会 場**
岩手県民会館中ホール
- 応募資格**
ジュニア部門 県内在住もしくは、岩手県出身者の高校生以下の方。
一般部門 ジュニア部門と同じ条件で18歳以上(年齢制限なし)の方。
- 演奏内容** ※エントリ後の曲目の変更は認められません。
ジュニア部門 10分以内の任意の曲(ソロ・連弾)
一般部門 20分以内の任意の曲(ソロ・連弾)
- 参加料**
ジュニア部門 出演料 8,000円、チケット負担金 3,000円(3枚分) 計11,000円
一般部門 出演料10,000円、チケット負担金 3,000円(3枚分) 計13,000円
- 応募方法**
所定の申込用紙(右記の出演申込書)に記入の上、申込書のみ9月8日(水)までに、下記申込先に郵送すること。(当日消印有効)
申込み受付後、本人に振込用紙を送付する。振込用紙到着後、1週間以内に参加料を振り込むこと。
●申込先 〒020-0117 盛岡市緑が丘2-2-11 一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会
●事務局 電話・FAX 019-661-2927

- その他の**
(1)連弾の出演料は、ワンステージとする。但し、チケットは、出演者人数分の負担とする。
(2)振込み後の返金は致しかねます。
(3)問い合わせ先は、上記申込先と同じ。E-mail : iwatepref-piano@iaa.itkeeper.ne.jp
(4)出演申込書に記載された個人情報、ピアノ演奏会の運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切使用しない。

今年度のピアノ演奏会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、両部門とも演奏会形式での開催となります。
つきましては、ジュニア部門のコメント及び一般部門の審査はございませんのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止等に併い、
中止や延期・縮小となる場合がございます。
●最新情報は「岩手芸術祭ホームページ」まで
【http://www.iwate-bunshin.jp/artes/】
(公財)岩手県文化振興事業団ホームページ内

第74回岩手芸術祭ピアノ演奏会【ジュニア】出演申込書

演奏形態 (該当するものに○)	1	ソロ	2	連弾
ふりがな				
氏名				
住所	(〒	—)	
学校名				♯()
※プログラムに記載しますので、○○立○○学校など正式名称を記載してください。				
演奏曲目				演奏時間
※作品番号、調性を必ず明記して下さい。				
作曲者				
師事者				♯()
※当協会会員師事者以外は連絡先も明記して下さい。				

第74回岩手芸術祭ピアノ演奏会【一般】出演申込書

演奏形態 (該当するものに○)	1	ソロ	2	連弾
ふりがな				
氏名				
住所	(〒	—)	
演奏曲目				演奏時間
※作品番号、調性を必ず明記して下さい。				
作曲者				
プロフィール (プログラムに掲載しますので、学校名または出身校、社会人の方は職業を簡潔にお書き下さい。)				

各小・中・義務教育学校長 様

岩 手 県 知 事 達 増 拓 也
 岩手県教育委員会教育長 佐藤 博
 第74回岩手芸術祭実行委員会会長 柴田 和子
 岩手県小・中学校美術展協会会長 鈴木 敏彦

第74回岩手芸術祭 小・中学校書写・美術作品募集について(お願い)

岩手芸術祭の一環として、本年度も小・中学校美術展(書写・美術作品)を開催し、書写・美術教育の振興に資するため、下記要項により作品を広く県内小・中学校より募集することになりました。つきましては募集要項をご覧の上、多数ご出品くださいますようお願い申し上げます。(小学校には義務教育学校前期課程、中学校には後期課程を含みます。)

第74回岩手芸術祭 小・中学校美術展作品募集要項

- 1 趣 旨 第74回岩手芸術祭の一環として、県内小・中学校児童、生徒の書写・美術を展示し、広く県民に児童、生徒の作品について鑑賞の機会を提供するとともに、本県小・中学校の書写・美術教育の振興をはかる。
- 2 主 催 岩手県、岩手県文化振興事業団、岩手県芸術文化協会、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手
- 3 後 援 岩手県教育委員会、盛岡市、岩手県小学校長会、岩手県中学校長会、岩手県小学校教育研究会国語部会、岩手県書写書道教育研究協議会、岩手県小学校教育研究会図工部会、岩手県中学校教育研究会美術部会、NHK盛岡放送局、盛岡タイムス社、胆江日日新聞社、岩手日日新聞社
- 4 運 営 第74回岩手芸術祭実行委員会、岩手県小・中学校美術展協会
- 5 応募資格と出品点数 岩手県内の小・中学校に在籍している児童、生徒の作品で個人制作、各部門1人1点とする。
- 6 応募作品 ○令和3年度に制作した作品で、各部門の定める規定に合致するものとする。
○出品料は無料とする。
- 7 出品方法 ○書写の応募作品は返却しない。美術作品について返却を希望する学校は、出品目録に記入すること。作品は学校を経由して所定の出品票(書写は不要)、出品目録及び出品者名簿を必ず添付して出品すること。
各様式は、岩手県文化振興事業団ホームページ(<http://www.iwate-bunshin.jp/>)からダウンロードのこと。
- 8 受付期間 令和3年9月22日(水)から10月6日(水)まで。(10月6日(水)必着のこと。)
- 9 送り先

＜小学校絵画作品送付先＞	＜中学校美術作品送付先＞	＜小学校書写作品送付先＞	＜中学校書写作品送付先＞
〒020-0633 滝沢市穴口328 盛岡市立月が丘小学校内 大場 江利子 宛 TEL 019-684-3744	〒020-0861 盛岡市仙北3-18-1 盛岡市立仙北中学校内 大坂 忍 宛 TEL 019-636-0573	〒020-0022 盛岡市大通3-8-1 盛岡市立桜城小学校内 八木橋 智子 宛 TEL 019-653-5758	〒020-0044 盛岡市城西町4-1 盛岡市立城西中学校内 對馬 亜希子 宛 TEL 019-623-9274
★小・中学校美術展にかかわるお問い合わせは、月が丘小学校 副校長 大場江利子へお願いします。TEL 019-684-3744			

- 10 審 査 岩手県小・中学校美術展協会会長が委嘱した審査員により審査する。
- 11 入賞入選者の発表 入賞・入選者は審査終了後、出品学校長宛通知するほか、入賞者については岩手日報を通じて発表する。
- 12 褒 賞 すぐれた作品に対し、各部門ごとに芸術祭賞、優秀賞、奨励賞、その他の賞を贈る。
- 13 展 示 展示は入賞・入選作品のみとし、展示方法は岩手県小・中学校美術展協会へ一任する。
- 14 展示期間 令和3年12月3日(金)から12月5日(日)までの3日間とする。
(12月3日～4日は9時から17時まで、12月5日は9時から16時まで)
- 15 展示会場 盛岡市内丸 岩手県民会館
- 16 巡回展 第74回岩手芸術祭巡回小・中学校美術展開催要項にもとづき、県内各地で巡回展示する。(作品は学年別、書写、絵画作品300点程度)
- 17 協 賛 巡回コースおよび日程については後日決定する。(巡回展の事務局は岩手県文化振興事業団総務部) 第36回国民文化祭・わかやま2021協賛事業



